

平成31(2019)年度

清水小学校が目指す教育

【教育目標】

未来を創造する
清水の子の育成



【子ども像】

学びを広げる子
思いやりあふれる子
たくましさみなぎる子

【本年度の学校経営の重点】

【あたま】 他者と関わり合いながら、学びを深め、広げよう

- ・発表・説明・話し合い → 授業で説明・発表する場の工夫 90%以上
- ・読書大好き 清水の子 → 学校図書館 貸出 一人当たり+2冊

【こころ】 互いを認め合い、違いを尊重し合いながら、自己肯定感を高めよう

- ・縦割り活動、異学年交流の充実 → 各学期3回以上・年間10回以上
- ・考え、伝え合い、認め合う道徳の授業作り
→ 道徳の時間に考えたことを普段の生活に生かす 80%以上

【からだ】 体を動かす楽しさを実感しながら、体力・運動能力を向上させよう

- ・新体力テスト 記録アップ → 2回目の種目も含めて全国平均 50%以上

【あたま】

○他者と関わり合う中で、コミュニケーション能力を身につけ、学びを深め、広げる子ども

○発表・説明・話し合い 思考力・表現力

- 毎日しよう 家庭学習 ・学年×10分以上+10分 家でも読もう 読書大好き 清水の子 ・10分以上
- ・学習規律の徹底（清水小スタンダード） ・「授業改善に向けた共通取組事項」の実践
- ・小中の学習スタンダードの整備 ・移行措置対応→教育課程の整備 ・学力向上プロジェクト

【こころ】

○自己肯定感を高め、互いを認め合い、違いを尊重し合う子ども

○あいさつ・いじめゼロ・思いやり

- ・一人一人が考え、伝え合い、認め合う道徳の授業
- ・縦割り活動、異学年交流の充実
- ・人間的なふれあいによる教師と子どもの信頼関係の構築、積極的生徒指導の推進

【からだ】

○体を動かす楽しさ、健康安全の必要性を実感する子ども

○体力・運動能力の向上

- ・日常的な運動機会の設定、なわとび、命を守る指導、アウトメディアの推進

【特別支援教育】

- ・個の課題に応じたきめ細かな支援
(個別の各種計画等の活用の推進)
- ・校内支援組織の充実
- ・インクルーシブ教育システムの理念の共有

【地域・保護者との連携】

- ・コミュニティ・スクールの準備
- ・積極的な情報発信、課題の共有、協働

【小中連携】

- ・小中共通の取組や実践の推進